

合格体験記

令和元年 12 月 25 日

K.H.

1. 受験理由

自己啓発的なものです。大学では経営学部でしたが、当時は、簿記や会計を中心に勉強しており、卒業後は、上場企業の経理マンとして働いてきました。40 歳を前に、知識の幅を広げようと思い、経営について体系的に学ぶ手段として診断士の受験を志しました。

2. 受験 1 年目について

1 次試験対策は、いわゆる独学で、通勤時間や週末を中心に市販の問題集を繰り返し解きました。

1 次試験は、8 月の一番暑い時期に 2 日間に渡り行われる過酷な試験で、私は勝手に「おじさん達の夏の陣」と呼んでいました。運の助けもあり、1 回で合格することができました。

1 次の自己採点后、2 次の対策を始めました。こちらも基本的には独学で、ネットの口コミなどでよさそうな問題集を 1 冊購入し、自己流で勉強をして 2 次筆記試験に挑みました。

結果は不合格でした。合計で合格点 240 点に対し 12 点足らずと点数的には僅差ではありましたが、自分の専門である財務（事例 4）でたまたま高得点を取れたという要因が大きく、事例 1 から 3 までは、与件文からの抜き取りと自分の思い付きを合わせた解答であり、診断士として持っているべき知識や思考は身につけていないことを痛感しました。

3. 経営企画部への異動と SLA との出会い

1 年目の 2 次試験の受験と同じタイミングで、勤務先の食品メーカー内で、経理部から経営企画部に異動となりました。全社の戦略や中期計画の策定、関係会社の経営支援・指導をする部署に異動したことにより、診断士試験に受かるだけでなく、しっかりとした知識を身につけ、それを実務で活かせるようにしたいという願望が芽生えてきました。

翌年の 2 次試験の勉強方法をどうするかという思いを巡らせながらも、勉強には手が付かないまま新年を迎えてしまいました。焦り始めた私は、資格学校数社の体験レッスンを受けることにしました。しかし、そこで訪問した資格学校では、定型の知識を身につけ、それに基づいて解答するという感じでした。A の答えは B、C の答えは D、それ以外は間違いといった感じです。講師から適宜質問され、生徒が回答するというやり取りはあるものの、それなりの人数のクラスであれば、回答に対するコメントは講師からの一方的なものとなりがちです。資格試験に効率的に受かる為にはその方が迷いもなく、効率的なのかもしれませんが、実務に活かしたいと思っている私にとってはあまりしっくりこないメソッドでした。

そんな折、勤め先の近くに SLA という少人数制・診断士 2 次試験専門の学校があることを知り、会社帰りに体験レッスンを受けました。

その時の体験レッスンは、倉前先生とマンツーマンだったこともあり、SLA が強みとしている少人数・ゼミ方式・双方向コミュニケーションを十分に体験することが出来、受講を決断しました。

4. SLA での学習

SLA では、最初に、必要な知識やテクニク的なことを短期集中で学び、後は過去問を題材に答案練習を繰り返します。

私は月・火の夜間コースでしたが、月曜日には、まず前週の宿題を提出します、そして我々が過去問を解いている間に、先生は宿題の確認を行い、その日のうちに宿題についてのフィードバックをしてくれます。又、月曜日に作成した答案は、翌日までに先生が採点し、翌日はそのフィードバックと共に、事例の細かい点まで分析・検討・質問・議論するといった感じで授業が進んでいきます。自分が作成した解答や意見へのフィードバックが早い為、積み残しが無く、その場で疑問を解決し、進んでいけるということ、事例について先生や生徒分け隔てなくディスカッションすることで、考える力を養うことが出来るということが、SLA のメリットだと思っています。

5. 2次筆記試験について

2年目の2次筆記試験については、試験終了後の手ごたえの微妙さと疲労困憊であったこと以外はあまり覚えていません。ただただひたすら、あの「おじさん達の夏の陣」には、二度と戻りたくない！と思い、試験中は全力を尽くしました。

6. 筆記試験合格そして口述試験へ

筆記試験の発表日にインターネットで合格を確認した私は、うれしい気持ちと共に、直前に迫った口述試験を思っただけで焦り始めました。筆記試験の手ごたえが微妙だったこともあり、試験後は再現答案も作成せず、勉強も全くとせずのんびりに過ごしていたのです。

SLA に合格しましたと連絡をしたところ、先生が筆記試験の解説・回答例を郵送してくれました。それを参考にしながら、口述試験までの約1週間は、真剣に勉強しました。

そして迎えた口述試験当日、面接官から繰り出される質問に、汗をかきながら回答しつつ思ったことは、SLA で授業を受けていた時に過去問の事例を題材に先生や仲間達とディスカッションしていたということが、ここでも活かしているなということでした。

7. 2次試験合格、そして

約2年前に、思い付きで始めた挑戦でしたが、SLA との出会いもあり、目指していた令和元年合格者になることができました。しっかりと知識を身につけ、それを実務で活かせるようにしたいという願望の達成は、まだまだ先のことになるとは思いますが、中小企業診断士の資格者となり、今後も研鑽を積んでいこうと思っています。

以上